◆人材・労働環境

労働条件、労使関係

竹中工務店社員組合と締結している労働協約において、組合員が団結権、団体交渉権その他法の定める権利を正当に行使することを認めています。
また、従業員能力を発揮し、誇りをもって働くことができるよう、雇用・労働条件の改善と、労使関係の円滑化を図っています。建設業界では、特にプロジェクトを施工する作業所での勤務時間が長くなる傾向にあります。そこで、協力会社との対話を進めながら、生産性向上と長時間労働の改善を図っています。また、従業員が、一人ひとりの個性や多様性に応じた能力を発揮し、その相乗効果が得られるよう、ダイバーシティの促進も行っています。女性やシニア層の活躍促進や、人生のライフステージに応じた柔軟な働き方を選択し、ワーク・ライフ・バランスを維持して働くことができるよう制度拡充を進めています。

キャリアマネジメント

従業員の能力開発と成長、建築技術の継承を目的とする研修や教育を体系的に実施し、キャリア形成の後押しを行っています。定期的に実施している人事面談にて本人の意向を確認するなど、従業員一人ひとりの個性を尊重しながら、本人のスキルアップと人材の育成を図ることが、人材の定着化にもつながると考えています。なお、新入社員は、入社後1年間、新入社員寮で生活しながら複数のOJTを経験します。これを通して、当社の伝統精神、プロフェッショナルとしての知識や心構えを身に着けることができます。また、役付職のマネジメント能力を強化するための教育も行っています。

人権 （児童労働と強制労働、外部の利害関係者の人権）

2018年に人権方針を定め、人権の侵害を予防し、人権への悪影響を軽減、そして是正・救済を行うためのプロセス確立に努めています。具体的には、顕著な人権課題の特定、影響の評価など、人権デューデリジェンスの仕組み構築と実践を進めています。その際、外部の利害関係者（または社外の協力会社関係者）への影響も 考慮します。人権に関わる施策は、コンプライアンス委員会で討議・承認され、社長が委員長を務める企業倫理中央委員会に報告されます。
また、企業行動規範にも定めている通り、児童労働と強制労働は行いません。お取引先を含むすべての職場において、法律で定められた就業最低年齢を下回る年齢の児童（就業最低年齢は原則15歳、健康・安全・道徳を損なう 恐れのある労働については18歳）の雇用を禁止しています。また、処罰の脅威の下に強要され、かつ本人が自ら任意に申し出たものではない一切の労務を禁止しています。

相談・通報窓口（苦情処理メカニズム）

コンプライアンス違反等に関する通報窓口として、従業員用にコンプライアンス・ヘルプライン、竹中グループ・ヘルプライン、ハラスメント相談窓口等を、社外の協力会社関係者用にパートナーズ・ネットを設置し、これらの窓口にて人権や労働に関する通報、相談も受け付けています。これら制度への相談者や通報者は、いかなる不利益を被ることがないよう保護され、最大限の配慮をしながら、問題の早期発見と対応、社内での自浄作用実現に努めています。

従業員数【単体】（人）

（年度）		2019	2020	2021	2022	2023	2024
全体	20代	1622	1680	1658	1609	1534	1496
	30代	1451	1555	1638	1711	1777	1855
	40代	1822	1582	1444	1366	1357	1359
	50代以上	2935	3204	3296	3266	3359	3351
	計	7919	8021	8036	8042	8027	8061
男性	20代以下	1188	1232	1211	1192	1145	1117
	30代	1206	1273	1320	1342	1360	1400
	40代	1565	1361	1249	1198	1203	1206
	50代以上	2506	2757	2842	2795	2888	2893
	計	6554	6623	6622	6617	6596	6616
女性	20代以下	434	448	447	417	389	379
	30代	245	282	318	369	417	455
	40代	257	221	195	168	154	153
	50代以上	429	447	454	471	471	458
	計	1365	1398	1414	1425	1431	1445

従業員数【連結】（人）

（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全体	13355	13171	13212	13278	13507	13598
建設事業	11550	11472	11498	11548	11730	11789
開発事業	190	170	158	161	165	162
その他	1615	1529	1556	1569	1612	1647

平均年齢（歳）

（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全体	44.0	44.0	44.1	44.3	44.6	43.3
男性	43.9	43.9	43.8	44.2	45.3	43.9
女性	40.2	40.0	39.8	40.0	41.2	40.2

平均勤続年数（年）

（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024
全体	17.1	19.1	18.5	18.6	18.9	18.4
男性	18.9	18.8	18.9	19.0	19.4	18.8
女性	16.5	16.2	16.2	16.2	16.5	16.0

◆ダイバーシティ推進

竹中工務店は性別、国籍、年齢、障がいの有無、性的指向、性自認等に関わらず、誰もがいきいきと働けて、働きがいのある職場環境の実現を目指しています。
多様性を尊重しながら生産性向上と「働きがい」や「やりがい」を高めることを目的として、働き方改革推進体制を強化し、柔軟な働き方が実現可能な職場を目指します。

（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024
女性従業員比率（%）	17.2	17.4	17.6	17.7	17.8	17.9
女性管理職数（人）	131	146	155	164	176	191
女性管理職比率（%）	4.1	4.5	4.8	5.1	5.2	5.5
部長以上（%）	0	0.003	0.004	0.01	0.02	0.02
女性役員比率（%）	1.5	1.7	1.5	1.5	1.5	3.4
女性技術者数（人）	430	482	521	549	580	621
女性技術者比率（%）	31.5	34.5	36.8	38.5	40.5%	42.9%

（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024
再雇用者数（人）	608	634	656	693	574	433
再雇用率（%）	85	87	79	83	83%	75%

（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2025
障がい者雇用率（%）	2.17	2.24	2.32	2.34	2.47	2.50

	（年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024
有給休暇取得率（%）			51.6	55.6	58.6	66.1	61.2
平均有給休暇取得日数（日）				10.9	11.5	13.0	12.1
ボランティア休暇取得者数（人）				7	0	0	2
年間総労働時間（時間）				2225	2171	2127	2094
月間平均残業時間（時間）		27.8	29.4	31.7	28.7	24.4	22.1
育児休業取得率（%）	男性	5.3	6.8	7.7	24.1	35.8	39.2
	女性	100	100	100	100	100	80.8
育児休業取得者数（人）	全体	53	30	69	173	155	159
	男性	13	15	23	63	98	100
	女性	40	15	46	110	57	59
ハローパパ休暇取得者数（人）				86	87	129	134
育児フレックス勤務者数（人）	全体			145	169	345	401
	男性			88	106	142	183
	女性			57	63	203	218
育児短時間フレックス勤務者数（人）	全体			67	142	161	174
	男性			5	4	8	8
	女性			62	138	153	166
介護休暇取得者数（人）				128	128	141	170
介護フレックス勤務者数（人）	全体			12	13	20	20
	男性			1	3	4	5
	女性			11	10	16	15
介護短時間フレックス勤務者数（人）	全体			3	7	9	6
	男性			0	1	1	1
	女性			3	6	8	5
看護休暇取得者数（人）				244	150	270	367

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	注記
社員組合加入率	90.6%	90.5%	91.5%	91.4%	91.1%	90.6%	（組合員は正式な労働協約の適用対象）対象は社員（嘱託を除く）
業績とキャリア開発についての定期的評価を受けている従業員の割合	95.4%	95.0%	96.2%	96.3%	94.7%	93.8%	受けていないのは、室・本部長、出勤率が25%未満の者、退職予定者等、定期評価対象外の者
キャリアまたはスキルに関する研修を受けた従業員の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	階層別研修、品質つくり込み研修等
人権に関する研修を受けた従業員の割合 （対象は新任グループ長）	89.3%	90.3%	89.0%	96.3%	94.3%	86.3%	e-ラーニング　職場のハラスメント受講者 （全事業所を対象として実施）
企業倫理問題に関する研修を受けた従業員の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	「コンプライアンスニュース」による周知、職場ミーティングの実施（eクイズの実施）、企業行動規範e-ラーニング
（eクイズの合格率）	94.4%	97.3%	―	―	―	―	

◆労働安全衛生

竹中工務店は、従業員が、安全で衛生的、そして心身ともに健康な状態で働くことのできる職場環境を追求し、健康経営を推進しています。特に、作業所では、災害や事故を防止し、安全を最優先にすることを徹底しています。

作業所の労働安全衛生

「安全衛生方針」に基づき、厚生労働省の「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針（OSHMS指針）」に沿って、これより厳しい自主基準「竹中の労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）」を2011年から導入し、協力会社と一丸となった安全衛生管理を徹底しています。

作業所の安全衛生管理体制

役員（取締役）を委員長とする安全衛生管理中央委員会のもと、各本・支店に安全衛生管理委員会を設置し、協力会社の安全衛生管理組織である安全衛生協力会と協力して作業所における災害防止と健康管理等、安全衛生を推進しています。

労働安全衛生データ（対象は竹中工務店が直接雇用する従業員）

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	注記
健康リスク評価の対象となる従業員の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	健康診断受診対象者の割合
安全衛生リスク評価の対象となる従業員の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	安全衛生委員会が対象とする従業員の割合
ストレスチェックを受けた従業員の割合	96.1%	95.6%	96.0%	97.4%	97.4%	96.3%	
従業員１人あたりの１年間の安全研修の平均時間	4.5時間	4.5時間	4.5時間	4.5時間	4.5時間	4.5時間	

作業所の安全成績（協力会社の労働者並びに中小事業主及び一人親方を含む）

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	注記
労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の対象となる協力会社の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	「安全衛生協力会」に入会している協力会社
労働災害による死亡者数	1 件	1件	3件	0件	0件	0件	
作業所の労働災害度数率	0.62	0.43	0.63	0.26	0.45	0.29	※休業４日以上
作業所の労働災害強度率	0.20	0.18	0.39	0.03	0.04	0.02	延べ労働損失日数÷延べ労働時間数×1,000

◆サプライチェーンマネジメント（持続可能な調達推進に向けた取組）

竹中工務店は企業が果たす社会的責任の一環として、2012年に“お取引先と一体になり、社会・お客様ニーズに応える調達を推進する”とした「調達方針」及び「活動指針」を定め、調達分野における明確な方針に基づいた活動を展開しています。また取引会社（＝協力会社）に対しても、当社の調達方針へのご理解・ご賛同をお願いしています。

◇協力会社と連携したCSR強化

当社の生産活動に関わる工事調達においては、すべての協力会社に対して、環境、労働や安全管理に関する取り組み状況を確認し、これらの項目に関する要求事項を織り込んだ「条件確認書」の締結を徹底しています。

また、年2回（4月、10月）、全店一斉に実施する「協力会社評定」では、過去6ヶ月間に一定金額を超える取引実績のある協力会社に対して、安全や環境課題への取り組み度合いなどを織り込んだ評定書による評価を行っています。さらに、重要職種である大工・弐土工・鉄筋・左官については、年に1回の「訪問面談」によるヒアリング調査を実施しています。

また、作業所においては日常的に行動確認をおこなっています。

取引先活動ガイドライン　（2020年10月制定）

協力会社において、当社の調達方針にご理解いただき、同じ方向性で活動していただくための具体的な指針として、「取引先活動ガイドライン」を制定し、当社の協力会社およびその傘下の企業も含めて、遵守をお願いしています。

https://www.takenaka.co.jp/corp/policy/procurement/

竹和会

過去の評定成績等、当社の厳しい審査基準を通過した主要協力会社で構成され、コンプライアンスの徹底、労働安全衛生、品質、生産性の向上や環境配慮活動の推進など、当社と一体となった「ものづくり」に取り組んでいただいています。竹和会では毎年運営基本方針を策定し、各地区の竹和会運営委員会が基本方針および各地区の実情を踏まえた重要課題の絞り込み、方針・重点方策の設定を行っています。

サプライチェーンデータ

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	注記
協力会社のうち「竹和会」会員会社の割合（会社数）	37.1%	37.4%	37.8%	37.4%	37.2%	37.6%	登録会社のうち竹和会会員会社の割合
持続可能な資材調達に関する方針書に署名した協力会社の割合	37.1%	37.4%	37.8%	37.4%	37.2%	37.6%	竹和会会員会社（「竹和会運営方針書」を共有）
環境、労働、安全管理などに関する事項を記載した契約書による協力会社との契約締結割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	「条件確認書」による契約締結
CSRに関する調査（実地を含む）を受けた協力会社の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	内勤部門による作業所巡回実施時に、環境・労働等について面談を含む確認を実施。
CSRに関する評価を受けた協力会社の割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	年2回の協力会社評定においてCSR項目も評価。 対象は過去6か月に一定金額以上の取引実績のある協力会社。
持続可能な調達に関する調達担当者の研修実施率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	調達部内研修、e-ラーニング等

◇グリーン調達の推進

環境負荷の小さい物品・サービスを優先的に調達する「グリーン調達」を2001年から推進しており、竹和会運営基本方針にも反映されています。

（詳細は「環境保全活動」をご覧ください。）

◇資源の持続可能性のために

調達する木材の合法性確認体制を整備し、合法木材の調達に努めています。また、今後、鉄・セメント等の主要原材料の持続可能性に関してもリスク評価に取り組んでいく予定です。

◆社会貢献活動

竹中工務店は企業財団活動への支援などを通じて建築文化の継承と発信、次世代を担う人材の育成と地域の発展に努めています。

会社として継続実施・支援している主な社会貢献活動実績

項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	備考
「竹中技術実務研修センター　想」における学生・教員向け教育プログラム実施件数（件）／受講者数（人）	5／55	1／18	1／21	5／156	4／131	4／115	兵庫県川西市の当社研修施設において建築系の学生や教員に向けた研修プログラムを提供。
重要文化財「聴竹居」 来訪者数（人）	8,664	800	2,208	3,321	4,780	5,621	京都府大山崎町に遺る昭和初期のモダニズム建築を保存・修復し、一般に公開。
「公益財団法人ギャラリーエークワッド」来訪者数（人）	16,710	7,387	5,274	7,315	9,792	16,174	2005年に竹中工務店東京本店社屋1階にオープン。建築文化に関連する一般向け企画展を開催。
「公益財団法人竹中育英会」奨学金の給付人数（人）	176	190	182	182	193	190	青少年の育成と教育の深耕を図る目的で1961年に設立、返済不要の奨学金給付事業を実施。
「公益財団法人竹中大工道具館」 来訪者数（人）	61,326	20,705	14,978	26,229	49,398	50,048	大工道具の歴史などを実物展示で紹介。1984年開館、2014年に新神戸駅近くに移転。